2018年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL30618B16）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボリビア	H131 栄養士		個別	交替 2代目	2年	・2019/1・2019/2・2019/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

教育省

2）配属機関名（日本語）

プエルト・デ・メヒジョネス職業訓練校

3）任地（ ラパス県エルアルト市 ） JICA事務所の所在地（ ラパス県ラパス市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ ﾊﾞｽで 約 0.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

・同校は1981年に設立された職業訓練校で、教育省の傘下にある教育機関である。しかし同省からの財政援助はなく、県から電気・水代のみが資金援助されている状況。独自予算は年約5万米ドル。
・同校は7学科(電子・電気科/産業機械科/秘書科/自動車整備科/情報学科/食品産業科/調理学科)を有し、生徒数1600名、教員数80名が在籍。授業時間は8:00-12:30、18:30-22:30の2部制で、いずれも卒業時に上級資格を授与。
・食品産業科と調理学科は生徒数240名、及び教員数18名である。
・エルアルト市の小・中学校4校と提携し、キオスコ・サルダブレ(学校売店改善プロジェクト)を実施予定である。

【要請概要】

1）要請理由・背景

・同校は設立以来、JICAボランティア(自動車整備科や食品産業科等)の受け入れ先として、また草の根無償資金協力スキームでも複数回支援を得るなど、日本との縁が深い教育機関である。
・今回要請のあった食品産業科と調理学科には生徒数約240名(食品産業科:180名、調理学科:60名)が在籍しており、それぞれ8:00-12:50と18:30-22:30の上級資格取得コースを開催している。
・本要請は同2科における栄養に関する意識改善を図り、また、高等教諭用の中級コースに食生活習慣改善のテーマを取り入れることで、各学校における子供たちの食習慣を改善することを目的とする。
・短期ボランティア(栄養士)が活動中であり、同ボランティア帰国後も継続してJICAボランティアによる協力希望があり、後任要請に至った。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1.食品産業科及び調理学科の授業における栄養をテーマにした講座を拡充する。
2.調理学科の高等教諭用特別コースにて食習慣改善に関する授業を実施する。
3.高等学校教諭(注1)の所属校に出向き、栄養や食習慣改善に関する出前講座を実施する。また、他地域にてJICAボランティアのイニシアティブで立ち上がったキオスコ・サルダブレ(学校売店改善プロジェクト)の普及活動を行う(注2)。
(注1)ボリビアの義務教育は、就学前2年、初等教育6年、高等教育6年の14年構成。
(注2)同校では本プロジェクトに関心を示しており、高等学校教諭用コースに同プロジェクト名の科目を開設する予定。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、食品加工機材(パン工房、加工肉、乳製品、調理に関する機材等)

4）配属先同僚及び活動対象者

食品産業科主任(カウンターパート1):50代、実務経験25年
食品産業科講師(カウンターパート2)※:40代、実務経験6年

※調理学科講師を兼務。

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
スペイン語	スペイン語	

【資格条件等】

[免許]：（栄養士）

[学歴]：（　　）　備考：

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（実務経験）2年以上　備考：業務遂行のため必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（亜寒帯冬季少雨気候）　気温：（0～20℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

任地は標高4000メートルである。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.